

平成 28 年度  
社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）  
養成講座

シンポジウム  
報告書

平成 29 年 2 月

愛媛大学大学院理工学研究科  
愛媛大学防災情報研究センター

## 目 次

|                     |         |
|---------------------|---------|
| はじめに                | ..... 1 |
| 1. 社会基盤ME養成講座シンポジウム | ..... 2 |
| 1.1 シンポジウムの目的と意義    | ..... 2 |
| 1.2 シンポジウムの概要       | ..... 2 |
| 1.3 プログラム           | ..... 4 |
| 1.4 シンポジウム状況写真      | ..... 5 |
| 2. ME 認定証授与式        | ..... 7 |

### <添付資料>

#### 資料－1「愛媛大学・社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座 シンポジウム」 講演資料（PDF）

- ①「インフラストラクチャマネジメントと技術開発」
- ②「道路メンテナンスの現状と取組みについて」
- ③「愛媛県の維持管理の現状と将来」
- ④「愛媛大学の技術開発（SIP）と人材育成の取り組み」
- ⑤「ME の会のネットワークと今後の活動」

## はじめに

本報告書は、地域ニーズに応えるインフラ再生技術者育成のためのカリキュラム設計業務の「地域版学び直しプログラム」の開発・実証における“社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座”が終了した後に実施したシンポジウムである。

このシンポジウムでは、社会インフラ維持管理の技術開発を進めている SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)の講演と四国・愛媛県のインフラ維持管理に関する現状と課題、今後の人材育成と人材ネットワークなどの話題提供を踏まえて、今後の技術開発による生産性向上と人材育成の必要性についてパネルディスカッションを行った。これらの講演や討議について内容を取りまとめたものである。

平成 29 年 2 月吉日

愛媛大学大学院理工学研究科  
愛媛大学防災情報研究センター

日 時：2017 年 1 月 6 日（金） 14:40~17:20

場 所：愛媛大学城北キャンパス内 南加記念ホール

参加者数：240 名

主催：愛媛大学大学院理工学研究科、愛媛大学防災情報研究センター

共催：愛媛社会基盤メンテナンス推進協議会

### [社会基盤 ME 養成講座スタッフ]

矢田部龍一：愛媛大学大学院理工学研究科 教授

愛媛大学防災情報研究センター長

吉井稔雄：愛媛大学大学院理工学研究科 教授

愛媛大学防災情報研究センター副センター長

森脇 亮：愛媛大学大学院理工学研究科 教授

全 邦釘：愛媛大学大学院理工学研究科 准教授

山下祐一：愛媛大学防災情報研究センター 特定教授

水野千恵：愛媛大学防災情報研究センター 事務補佐員

中田弥生：愛媛大学防災情報研究センター 事務補佐員

### [愛媛社会基盤メンテナンス推進協議会]

愛媛大学防災情報研究センター／愛媛大学工学部環境建設工学科／国土交通省四国地方整備局／愛媛県土木部／愛媛県内 20 市町（自治体）／西日本高速道路(株)四国支社／(一社)愛媛県建設業協会／愛媛県土木施工管理技士会／(一社)建設コンサルタント協会四国支部／(一社)愛媛県測量設計業協会／(一社)全国地質調査業協会連合会四国地質調査業協会愛媛支部／愛媛県管工事協同組合連合会／(一社)全国特定法面保護協会四国地方支部愛媛県事務所／愛媛県法面工事業協同組合／NPO 法人愛媛県建設技術支援センター／愛媛県技術士会

## 1. 社会基盤ME養成講座シンポジウム

### 1.1 シンポジウムの目的と意義

本シンポジウムは、社会基盤ME養成講座終了後、最近の社会インフラの維持管理に関する技術開発の動向とともに、四国及び愛媛県で抱えている維持管理の現状と課題及び人材育成について、講演や話題提供とともにパネルディスカッションを行い、今後の維持管理の進め方を話し合うことを目的に開催した。その結果、維持管理に関するさまざまな問題も明らかにされ、今後それをどう解決していくかについても話し合われ、大変有意義なシンポジウムとなった。今後の社会基盤 ME 養成講座の進め方の参考になるとともに、維持管理の人材育成及び技術者のネットワークの重要性も明らかとなった。

### 1.2 シンポジウムの概要

平成 29 年 1 月 6 日（金）14 時 40 分～17 時 20 分、愛媛大学南加記念ホールにおいて、平成 28 年度社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座シンポジウムを開催した。官公庁、民間を中心に、大学を含め 240 名の多くの方々に参加いただき、関心の高いシンポジウムとなった。

講演は、内閣府の SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）の「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」SIP インフラの PD（プログラムディレクター）の横浜国立大学の上席特別教授の藤野陽三先生に「インフラストラクチャマネジメントと技術開発」と題して、社会資本の維持管理について土木と最先端技術を結び付ける技術開発について講演をいただいた。次に、講演・討論会と題して四国及び愛媛県の社会基盤の維持管理の現状と今後の取組みについて、国土交通省道路部の原田康道路保全企画官から「道路メンテナンスの現状と取組について」、愛媛県土木部の葛原健二技術企画室長から「愛媛県の維持管理の現状と将来」と題して話題提供をいただいた。次に、愛媛大学大学院理工学研究科の全邦釘准教授から「愛媛大学の技術開発（SIP）と人材育成の取組み」と題して SIP の取組みと愛媛大学が行っている社会基盤 ME 養成講座の内容が紹介された。さらに、民間から愛媛 ME の会の大野哲也副会長から「ME の会のネットワークと今後の活動」と題して、ME の会の活動内容や技術者がインフラと社会に対してできることについて話題提供を行った。

各自の講演や話題提供が終了した後、「社会基盤維持管理の技術開発と人材・ネットワーク構築」と題して、パネルディスカッションを行った。パネラーは講演者と話題提供者及び民間から愛媛大学社会基盤 ME の講師でもある（株）芙蓉コンサルタントの須賀幸一常務取締役も参加し、産官学それぞれ 2 人ずつの構成とし、コーディネーターは愛媛大学防災情報研究センターの山下祐一教授が勤めた。討論は時間の関係もあり、2 つのテーマに絞った内容とした。1 つは「維持管理の現状と課題～生産革命の実現に向けて～」、もう 1 つは「技術導入に向けた産官学連携による人材育成の必要性について」である。

パネルディスカッションは様々な意見が出されるとともに白熱した討論会となった。この結果は次のようにまとめられる。

#### 1) 維持管理の現状と課題及び生産性向上に向けて

- ・ 地方における維持管理の現状と課題及び今後の取組みについて理解が深まった
- ・ 社会インフラの老朽化及び人口減少・高齢化など社会問題も顕著になる中、新技術導入が可能な時代を迎え、インフラの情報プラットフォームの構築とともに、低コストで地域の活性化に寄与する実用の段階に近づいている

- ・新技術導入には様々な規制が伴い、それを乗り越えて産官学連携の下、地域の特性に合わせた技術の実装支援が必要である
- ・その可能性を実現するには産官学の連携とともに、技術者の育成が欠かせない

2) 技術導入に向けた産官学連携による人材育成の必要性

- ・維持管理に関する人材育成について、産官学で愛媛社会基盤 ME 推進協議会を設立し、社会インフラ老朽化に対する社会基盤 ME 養成講座を 3 年間実施し、四国 ME 認定者を 66 名輩出している
- ・今後の維持管理の技術者育成及び産官学のネットワーク構築を目指すとともに、SIP インフラの技術開発にも参加し、技術力向上を図るとともに、地方のインフラは地方が守ることを目指し、技術実装の協働と産官学の連携を深める

シンポジウムの講演及び話題提供の内容は、別途資料を添付するので参考にいただければ幸いです。

### 1.3 プログラム

シンポジウムのプログラムは、次のとおりである。

#### 社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座シンポジウム ～ 愛媛と四国を守るインフラ維持管理の技術開発と人材育成プロジェクト ～

■日時：2017 年 1 月 6 日（金）14:40～17:20

■場所：愛媛大学城北キャンパス内 南加記念ホール

■プログラム

##### (1) 開会挨拶

愛媛大学防災情報研究センター長 矢田部龍一

##### (2) 講演 講演「インフラストラクチャマネジメントと技術開発」

横浜国立大学 先端科学高等研究院 上席特別教授 藤野陽三

##### (3) 講演・討論会「社会基盤維持管理の技術開発と人材・ネットワーク構築」

###### ①話題提供「道路メンテナンスの現状と取組みについて」

国土交通省四国地方整備局道路部道路保全企画官 原田 康

###### ②話題提供「愛媛県の維持管理の現状と将来」

愛媛県土木部技術企画室長 葛原健二

###### ③話題提供「愛媛大学の技術開発（SIP）と人材育成の取り組み」

愛媛大学大学院理工学研究科准教授 全 邦釘

###### ④話題提供「ME の会のネットワークと今後の活動」

愛媛 ME の会副会長 大野哲也

##### パネルディスカッション

パネラー 藤野陽三，全邦釘，原田康，葛原健二，須賀幸一，大野哲也

コーディネーター 愛媛大学防災情報研究センター教授 山下祐一

##### (4) 閉会挨拶

愛媛大学防災情報研究センター 副センター長 吉井稔雄

（司会：愛媛大学防災情報研究センター 副センター長 二神 透）

主催：愛媛大学大学院理工学研究科、愛媛大学防災情報研究センター

共催：愛媛社会基盤メンテナンス推進協議会

#### 1.4 シンポジウム状況写真



矢田部センター長 開催挨拶



横浜国立大学上席特別教授 藤野先生



シンポジウム会場の様子



文部科学省 平成 28 年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業  
地域ニーズに応えるインフラ再生技術者育成のためのカリキュラム設計



パネルディスカッションの様子



愛媛大学山下教授 四国地整原田道路保全企画官 愛媛県葛原技術企画室長 藤野教授 愛媛大学全准教授



ME 講師須賀幸一氏 ME の会大野哲也副会長



吉井副センター長 閉会の挨拶

## 2. ME 認定証授与式

平成 28 年度の ME 認定証授与式は、シンポジウム開催前の 1 月 6 日(金)午後 1 時から行われ、ME 認定試験合格者一人一人に矢田部センター長から愛媛大学の履修証明書と四国社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) の資格認定証が授与された。

今年度の社会基盤メンテナンスエキスパート (ME) 養成講座は、学校教育法第百五条の規定に基づき、ME 養成講座を 121.5 時間とし、履修証明プログラムとして開催した。

ME 認定試験は、11 月 4 日(金)の筆記試験(論文問題と専門知識問題)と 11 月 11 日(金)のプレゼンテーション試験により審査され、合否が判定された。認定試験の合否は、愛媛大学社会基盤 ME 養成講座運営委員会で審査・合否判定され、愛媛社会基盤メンテナンス推進協議会に報告された。

ME 認定証授与式の状況は次の写真の通りであり、平成 28 年度合格された方は、表-1 に示した。



矢田部センター長挨拶

ME 認定証授与の様子

吉井副センター長のお言葉



平成 28 年度 ME 認定者 21 名と大学教員スタッフ

表―1 平成 28 年度 ME 認定試験合格者

| ME 認定番号 | 氏名     | フリガナ       |
|---------|--------|------------|
| 0 5 0   | 江原 博司  | エハラ ヒロシ    |
| 0 5 1   | 奥村 隆寿  | オクムラ タカトシ  |
| 0 5 2   | 勝田 剛史  | カツタ ツヨシ    |
| 0 5 3   | 勝部 浩志  | カツベ ヒロシ    |
| 0 5 4   | 鎌田 達也  | カマダ タツヤ    |
| 0 5 5   | 國沢 豊   | クニサワ ユタカ   |
| 0 5 6   | 佐伯 光   | サイキ ヒカル    |
| 0 5 7   | 柴垣 英明  | シバガキ ヒデアキ  |
| 0 5 8   | 砂田 尚彦  | スナダ ナオヒコ   |
| 0 5 9   | 高田 智也  | タカタ トモヤ    |
| 0 6 0   | 高橋 令   | タカハシ サトシ   |
| 0 6 1   | 竹内 直樹  | タケウチ ナオキ   |
| 0 6 2   | 田中 成樹  | タナカ シゲキ    |
| 0 6 3   | 富永 洋史  | トミナガ ヒロフミ  |
| 0 6 4   | 友井 拓海  | トモイ タクミ    |
| 0 6 5   | 中屋敷 洋介 | ナカヤシキ ヨウスケ |
| 0 6 6   | 西田憲二   | ニシダ ケンジ    |
| 0 6 7   | 野上 武志  | ノガミ タケシ    |
| 0 6 8   | 藤崎 武司  | フジサキ タケシ   |
| 0 7 0   | 宮下 雅史  | ミヤシタ マサシ   |
| 0 7 2   | 山下 智徳  | ヤマシタ トモノリ  |